

令和5年度 教科シラバス

教科	国語	科目	現代の国語
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	現代の国語（大修館書店）	副教材	教科書準拠現代の国語学習ノート（大修館書店） 新実用国語の演習（中部日本教育文化会） 現代文単語げんたん（いいずな書店）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
「考える技術」（学ぶ・考える） 「白紙」（学ぶ・考える） （レポート①） 「他者を理解するという事」（自己・他者） 「水の東西」（言語・文化） 「脳は美をどう感じるか」（言語・文化） （レポート②） 「プラスチック汚染からは逃げられない」 （生命・環境） 「自然と人間の関係をとおして考える」 （生命・環境） （レポート③） 前期考查範囲	「作業ロボットの悲劇」（メディア・情報） 「感情とは何か」（言語・文化） （レポート④） 「白」（言語・文化） 「「伝える」の先にあるもの」（伝える・表現する） 「どう伝えるか」（伝える・表現する） （レポート⑤） 「贅沢を取り戻す」（社会） 「インターネット時代の音楽産業」（社会） 「実用的な表現」（伝える・表現する） （レポート⑥） 後期考查範囲

学習方法

デザイン・アート
副教材を活用して問題演習を行いながら内容を理解していく。文章を読んだり、意見を書いたり、表現したりと様々な活動を行う。類似の文章を扱うので、比較する中でその分野の理解を深めていく。

評価方法

デザイン・アート
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・発問評価 ・レポート評価 ・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で、論理的に考える力や深く共感する力、伝え合う力を高め、自身の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

令和5年度 教科シラバス

教科	国語	科目	言語文化
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	言語文化（大修館書店）	副教材	教科準拠言語文化学習ノート（大修館書店） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）

学習目標

<p>国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力、言葉による見方・考え方に対する意識を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。</p>

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
言語文化への視点 「文字の深秘」 古文に親しむ 『宇治拾遺物語』 (レポート①) 漢文に親しむ 『論語』『孟子』 言葉の紡ぐ世界 「羅生門」 災害の記録 『方丈記』 (レポート②) 伝統と発展 「実体の美と状況の美」 自然へのまなざし 『徒然草』 『枕草子』 現代に生きる言葉 『戦国策』『十八史略』 (レポート③) 前期考查範囲	表現の多様性 「夢十夜」 人との交わり 『伊勢物語』 日本と世界 「サーカス」 (レポート④) 伝統と発展、思いを表す言葉ⅠⅡ 短歌・俳句・漢詩・万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 (レポート⑤) 文学と社会 『雑説』 文学と人生 「セメント樽の中の手紙」 旅と人生 「おくのほそ道」 (レポート⑥) 後期考查範囲

学習方法

デザイン・アート
副教材を活用して問題演習を行い、内容を理解する。現代文、古文、漢文の様々な文章を学習する。それぞれ特有の言語の変遷を意識しながら読み進めていく。

評価方法

デザイン・アート
<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察・授業態度（出席率等も含む） ・発問評価 ・レポート評価 ・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

令和4年度 教科シラバス

教科	地理・歴史	科目	地理総合
単位数	デ：2単位 3：単位	レポート	デ：6回 キヤ：9回
教科書	高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる (第一学習社)	副教材	学習事項の整理と作業 地理総合ノート (第一学習社)

学習目標

<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>
--

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>第Ⅰ編 地図や地理情報システムと現代世界 第1節 球面上の世界と地図 第2節 国家の結びつきとグローバル化する世界 (レポート①②)</p> <p>第Ⅱ編 国際理解と国際協力 第1章 生活・文化の多様性と国際理解 (レポート③) 第1節 持続可能な社会を目指して 第2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて</p>	<p>第3節 自然と調和した豊かな社会に向けて 第4節 現役世代と将来の世代のための地球 第5節 平和で公正な社会に向けて (レポート④⑤⑥⑦⑧)</p> <p>第Ⅲ編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望 (レポート⑨)</p>

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<p>授業プリントを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり教科書2ページのペースで進める。 問題演習を行う。</p>	<p>授業プリントを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたりレポートの範囲を進める。</p>	<p>授業プリントを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。</p>

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） レポート評価 定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	<p>地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

令和5年度 教科シラバス

教科	数学	科目	数学 I
単位数	3 単位	レポート	9 回
教科書	最新 数学 I (数研出版)	副教材	3ROUND (第一学習社)

学習目標

数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
第1章 数と式 (レポート①②) 第2章 集合と命題 (レポート③④) 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ (レポート⑤)	第3章 2次関数 第2節 2次方程式と2次不等式 (レポート⑥) 第4章 図形と計量 (レポート⑦⑧) 第5章 データの分析 (レポート⑨)

学習方法

デザイン・アート

教科書に沿って、定義と公式の意味・使い方、例題を解説します。また、教科書の問と副教材を活用して数多くの問題演習に取り組み、高等学校で必要な計算力を身に付けていきます。

評価方法

デザイン・アート

- ・授業態度(出席率等も含む)
- ・発問評価
- ・レポート評価
- ・定期考査(4回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和5年度 教科シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	高等学校 改訂 科学と人間生活 (第一学習社)	副教材	改訂ネオパルノート科学と人間 生活 (第一学習社)

学習目標

<p>自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について，科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。</p> <p>科学技術の発展が，今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。</p> <p>自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて，これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。</p>
--

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
第Ⅰ章 物質の科学 第2節 衣料と食品 (レポート①②) (前期中間考査) 第Ⅲ章 熱や光の科学 第2節 光の性質とその利用 (レポート③) (前期期末考査) (前期考査)	第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 (レポート④⑤) (後期中間考査) 第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第2節 太陽と地球 (レポート⑥) (後期期末考査) (後期考査)

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材の学習のまとめを利用し、学習を進める。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率等も含む) 発問評価 (小テスト) レポート評価 定期考査 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率等も含む) 発問評価 (小テスト) レポート評価 定期考査 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 (出席率等も含む) レポート評価 定期考査 (2回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
科学技術の発展の人間生活への貢献，身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ，これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。	身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行って得た結果について，科学的に思考し，判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心をもち，科学的な視点・考察力を養うとともに，科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

令和5年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育（1年次）
単位数	3単位	レポート	4回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	現代高等保健体育ノート (大修館書店)

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<p>（第1回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの発祥と発展 ・体のつくりと働き ・バスケットボール・体づくり運動 <p>（第2回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの文化的特徴 ・陸上競技・バレーボール・ダンス・体づくり運動 	<p>（第3回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動・スポーツの学び方 ・バスケットボール <p>（第4回レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計 ・卓球・バドミントン・体づくり運動

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは、教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技は、それぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率等も含む） ・実技テスト ・レポート評価

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
<p>運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。</p>

令和5年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	保健
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	副教材	現代高等保健体育ノート (大修館書店)

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
1 単元 現代社会と健康 2 単元 安全な社会生活	3 単元 生涯を通じる健康 4 単元 健康を支える環境づくり

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習を進める。 1時間あたり副教材2ページのペースで進める。	副教材を利用し、学習を進める。 1時間あたり、レポートの範囲を進める。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） 発問評価 レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） 発問評価 レポート評価 定期考査（4回） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度（出席率等も含む） レポート評価 定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
各単元において、社会的な対策が必要であること、責任が生じること、適切に行う技能を身につけなければいけないことなどを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

令和5年度 教科シラバス

教科	美術	科目	美術1
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	高等学校 美術1(光村図書)	副教材	課題に応じて参考作品などを提示する。

学習目標

絵画、デザイン、立体表現、映像表現など美術分野の基礎となる造形的な見方・考え方を働かせながら、各分野の表現や特性について、理解を深め、創意工夫しながら的確に表現するための造形的な思考力、判断力、表現力を身につける。

学習内容

各分野の表現特性を学習しながら、構想を練り、絵画、デザイン、立体物、映像などの作品制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。

- 1、水彩表現の基本（風景画の制作）
- 2、空間と美術表現によるコミュニケーション（壁画制作）
- 3、写真表現
- 4、粘土の性質と立体構成
- 5、版画の基本
- 6、デザインの基本（ロゴマークの制作）
- 7、美術の歴史と作品鑑賞

学習方法

課題文を良く読み、要点を確認して課題制作を行う事。担当教諭の指導を受けながら、疑問点は質問し、作業を進めること。また制作は計画的に行い、締切は厳守すること。また、完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。

評価方法

課題を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイディアスケッチの段階から主体的、計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイディアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
各分野における表現方法の基本的な造形要素の働きを制作、鑑賞を通して、理解を深めている。また、それらの機能や効果を活かして、創造的な表現を行なっている。	自分の視点やアイディアを基に構想を練り、表現方法や構成を創意工夫して、計画的に表現する。	発想や構想したことを基に造形要素の働きを意識しながら、創意工夫して表現している。 美術、造形の表現に興味関心を持ち、主体的に制作や鑑賞に取り組んでいる。

令和5年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I
単位数	4単位	レポート	12回
副教材	MY WAY English Communication I (三省堂)	副教材	MY WAY English Communication I ワークブック STANDARD(三省堂)

学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり、伝えあったりする資質・能力を育成する。

言葉・文化・民族の多様性とその共存を基本とし、国際理解の精神の育成を図る。

学習内容

前期（4月～9月）	後期（10月～2月）
<ul style="list-style-type: none"> • Starter、Lesson 1～Lesson 3 文のしくみ、品詞、節と句、動詞の現在・過去・進行形、助動詞、受動態、動名詞、不定詞 （レポート①～③）【前期中間考査】	<ul style="list-style-type: none"> • Lesson 6～Lesson 8 現在分詞、過去分詞、分詞構文、関係副詞、比較表現、仮定法 （レポート⑦～⑨）【後期中間考査】
<ul style="list-style-type: none"> • Lesson 4～Lesson 5 完了形、関係代名詞 （レポート④～⑥）【前期期末考査】	<ul style="list-style-type: none"> • Lesson 9～Lesson 10、Reading 使役動詞、知覚動詞 （レポート⑩～⑫）【後期期末考査】

学習方法

デザイン・アート
<ul style="list-style-type: none"> • 本文を読んだり聞いたりして内容を理解する。予習として単語や表現の意味を調べておく。 • 単語の意味の確認、発音練習、本文の音読練習を行う。 • 読んだ英文の内容に基づいて、自分の意見や考えを書いたり、発表したりする。 • 各課のまとめとして、単語・表現の小テストを行う。

評価方法

デザイン・アート
授業態度（出席率等も含む）、発表内容、小テスト、課題提出、レポート評価、定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法など言語の働きについて理解を深め、これらの知識を適切に活用できる技能を身につけている。	話し手や書き手の意図などを的確に理解し、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

令和5年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現 I
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	VISTA Logic and Expression I (三省堂)	副教材	VISTA Logic and Expression I サブノート(三省堂) チャンクで英単語 Basic(三省堂)

学習目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くことの三つの領域別に示される目標の実現を目指した指導と通して、伝える資質能力を育成する。

学習内容

前期（4月～9月）	後期（10月～2月）
<ul style="list-style-type: none"> Lesson 1～Lesson 8 自己紹介、歴史上の人物紹介、今していること、夏休みの予定、経験したこと、比較、買い物・レストランでの表現 (レポート①～③)	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 9～Lesson 15 環境問題、芸術作品について述べる、将来の夢、世界遺産、ピクトグラム、日本文化 スピーチ・プレゼンテーション、ディスカッション (レポート④～⑥)

学習方法

デザイン・アート
<ul style="list-style-type: none"> 本文の会話文を聞いたり読んだりし、内容を理解する。 学習したことを取り入れながら、テーマに沿って会話をしたり、まとまった英文を書いたり（エッセイ）、発表（スピーチ・プレゼンテーション）をしたりする。 文法を学び、問題演習をして理解を深める。 『チャンクで英単語』を使って、語彙力を高める。

評価方法

デザイン・アート
授業態度（出席率等も含む）、発表内容、小テスト、課題提出、レポート評価、定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・理解	b. 思考・判断・表現の能力	c. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法など言語の働きについての知識を身につけ、適切に活用できる技能を身につけている。	情報や考えなどの要点、話し手や書き手の意図などを理解し、これらを活用して適切に伝えている。	言語やその背景にある文化に理解を深め、主体的自律的に外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。

令和5年度 教科シラバス

教科	情報	科目	情報 I
単位数	2 単位	レポート	4 回
教科書	高等学校 情報 I (第一学習社)	副教材	ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー (実教出版)

学習目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。 2 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。 3 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける
--

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～2月)
第1章 情報社会の問題解決 (レポート①) 第2章 コミュニケーションと情報デザイン (レポート②)	第3章 コンピュータとプログラミング (レポート③) 第4章 情報通信ネットワークとデータの活用 (レポート④)

学習方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト、ペイントソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につけていきます。	教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフトソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につけていきます。	教科書の各章のポイントに沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフトソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につけていきます。

評価方法

デザイン・アート	キャリア週4日登校型	キャリア週1日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業や実習態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・定期考査(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や実習態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・定期考査(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や実習態度 (出席率等も含む) ・レポート評価 ・定期考査(2回)

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
選択	3	3	34	
教科書		副教材等		
高校生の美術1		デッサンの基本		
学 習 目 標				
<p>(1) 材料の特性を理解し対象を観察することでの確に描写する基礎的な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力などを育成する。</p> <p>(3) 造形表現を追求する中で主体的に学習する態度を養う。</p>				
学 習 内 容				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具の使い方など制作にあたっての基本的な姿勢を学ぶ。 ・ タッチやグラデーションについて学び基礎的な表現技法を学ぶ。 ・ 構図や形の測り方など基礎的な描き方を学ぶ。 ・ 光や陰影について知り立体的な捉え方を学ぶ。 ・ クロッキーや人体を用いて動きや流れについて学ぶ。 ・ 石膏像や自然物、身の回りのものなど様々なモチーフを描写し幅広い描写力と表現力を養う。 ・ 模写を通して写実性や対象の構造について学ぶ。 				
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書やワークシートなどを活用する。 ・ 授業に参加し、活動を通して内容の理解を深める。 ・ 講評などを通して客観的な自己評価の姿勢を養うことで学びを深める。 ・ 制作は期限を守って完成させることを意識させ、作品及びレポートを提出する。 ・ 宿題や週末課題などを課す。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
出席、授業態度、課題作品、提出物・期限厳守などで総合的に判断し評価する。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めている。 ・ 対象を深く観察したことを基に表現を的確に表すことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深い観察を通して、対象のイメージや空間、形体などを把握することができている。 ・ 造形的な見方・考え方を働かせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的にデッサンや技法の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 ・ 粘り強く制作に取り組んでいる。 		
担 当 者 よ り 一 言				
<p>アート、デザインの様々な表現において必要な基礎を学びます。</p> <p>コツコツと積み重ねがとても大切ですので、一つ一つの課題をしっかりと取り組んでいきましょう。</p> <p>大学受験においても必要になるので積極的に学習しましょう。</p>				

令和5年度 教科シラバス

教科	美術	科目	平面構成
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	高等学校 美術1(光村図書)	副教材	課題に応じて参考作品などを提示する。

学習目標

デザインの基礎である平面構成を通して、用具の使い方や色彩、構成の仕組み、効果について理解する。目的や条件、美しさなどに留意し、計画的・創造的に表現する能力を身につける。またデザインにおいて重要なアイデアやイメージを他者に分かりやすく伝えるための能力を養い、デザインや色彩に関する興味関心を高める。

学習内容

色彩や構成の仕組みを学習しながら、制作計画にも留意して、アクリルガッシュ等を使用した作品を制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。

- 1、平面構成とは何か。原理と基本構成。
- 2、アクリルガッシュの使い方、平塗り、グラデーションの練習
- 3、色彩学の基本と色彩面分割
- 4、モチーフの平面構成(幾何学、野菜・果物、工業製品等)
- 5、ポスターの制作(文字と画像の構成)
- 6、アクションペインティングと画面構成

学習方法

課題文を良く読み、要点を確認して課題に沿った制作を行う事。アイデアスケッチ、色彩計画など、制作は順を追って行い、必ず担当教諭のチェックや指導も受けながら作業を進めること。また制作は計画的に行い、締切は厳守すること。また、完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。制作に必要な資料収集等も積極的に行うこと。

評価方法

課題を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイデアスケッチの段階から計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイデアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度
発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現する。デザインや色彩に関する表現方法や効果、特性などを理解する。	発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現する。デザインや色彩に関する表現方法や効果、特性などを理解する。	発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現する。デザインや色彩に関する表現方法や効果などへの理解を深めようとしている。

履修区分	単位数	レポート回数	最低出席回数	試験回数
必修	1	6	12	0
教科書		副教材等		
なし		なし		
学 習 目 標				
<p>(1) 様々な美術館や施設を見学し、美術作品の鑑賞の仕方や社会的ルールやマナーを身につける。</p> <p>(2) 鑑賞を通して美術やデザインの社会にもたらす影響や貢献などを学び、各自の進路決定に生かす。</p> <p>(3) 多種多様な鑑賞を行うことで、一人一人の視野や思考を広げ、それぞれの作品に生かす。</p>				
学 習 内 容				
<p>① ②ギャラリーみつけ ③新潟県立近代美術館と東京インテリア家具店 ④新津美術館と新津植物園 ⑤新潟駅周辺美術館・ギャラリーなど ⑥長岡造形大学</p> <p>※上記以外にLHRで事前学習や映像鑑賞を実施する場合があります。また、実施の時期や内容なども変更する場合があります。</p>				
学 習 方 法				
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を事前に調べる。 ・見学先で学芸員や担当者からお話を伺い、鑑賞をレポートにまとめる。 				
評 価 基 準 と 評 価 方 法				
出席、授業態度、作品、提出物・期限厳守などで総合的に判断し評価する。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度		
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にメモをとり、正しい鑑賞マナーを実施できているか。 ・事前学習及び現地での学びをレポート的確に表現されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じて鑑賞しているか、相手の意図を肯定的に捉えて受け止めているか。 ・鑑賞で専門用語や言葉などを捉え、レポートに取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にメモをとり、正しい鑑賞マナーを実行できているか。 ・メモを取ったり、教科書やプリント、制作途中の作品の見直しなどを積極的に行っているか。 		
担 当 者 よ り 一 言				
<p>いろいろな作品や考え方にたくさん触れましょう 自身の視野を広げ、制作にも生かしていきましょう。</p>				